

2025 Nov.



Japanese version



# CC-Link IE TSN接続対応製品 開発手法のご案内

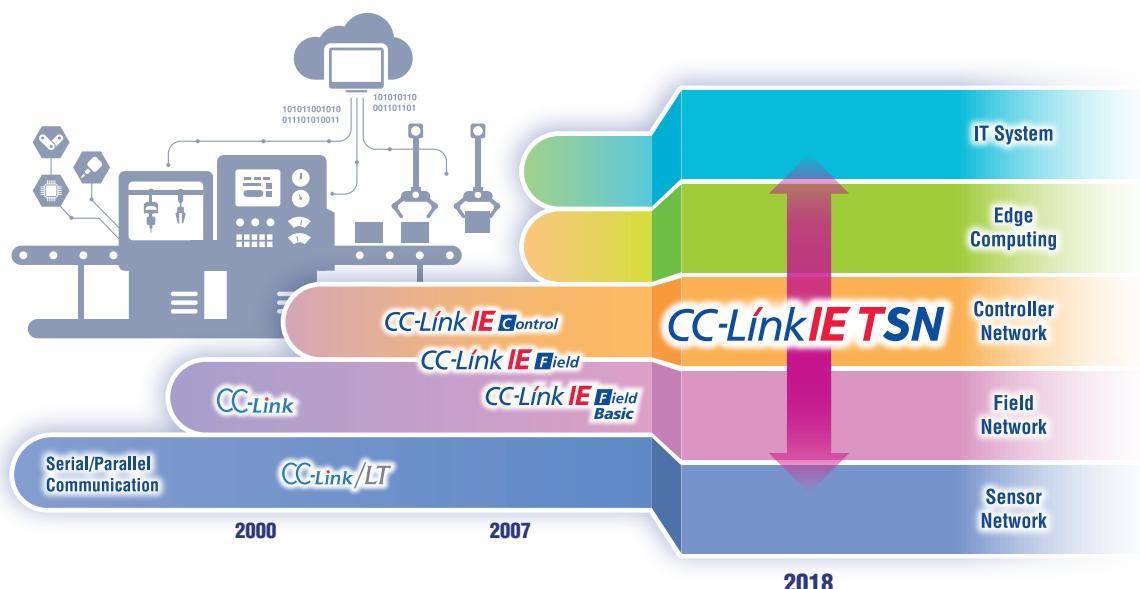




**CC-Link IE TSN**  
Open the Future of Connected Industries

スマートファクトリーに不可欠な産業用  
オープンネットワークをグローバルに  
展開するCC-Link協会(CLPA)

## あらゆる現場のネットワークに対応するCC-Linkファミリー



- スマートファクトリーの基盤となる産業用オープンネットワークとして、CC-Link IE TSNを中心に、お客様・パートナーと共に更なる進化を続けます。  
FAでの対応製品を拡充し、製造現場のデータを活用した高度な監視、分析、予知保全などを容易に実現できるよう、エッジコンピューティング領域のソフトウェアプラットフォームやクラウドとの連携強化を推進します。
- 市場で既に多く使用されているCC-Link、CC-Link IE コントローラネットワーク、CC-Link IE フィールドネットワークについてもしっかりと継続サポートし、更に既存機器やシステムとCC-Link IE TSNとの融合も図ってまいります。

## INDEX

CC-Link IE TSNとは	P.3
CC-Link IE TSN対応製品開発の流れ	P.4
開発ツール	P.14
受託開発	P.26
CC-Link IE TSNの主な仕様	P.32
CC-Link協会へのご入会	P.34

CC-Link協会は、IoTを活用したスマートファクトリーの構築を加速するために、標準Ethernetの拡張規格であるTSN技術を採用した産業用オープンネットワーク「CC-Link IE TSN」を世界に先駆けて世に送り出しました。

製造現場における幅広い市場要求の高まりに対し、多様な開発手法を提供し、真にオープンな産業用ネットワークをグローバルに展開してまいります。



CC-Link IE TSNの詳細はこちら

## CC-Link IE TSNとは

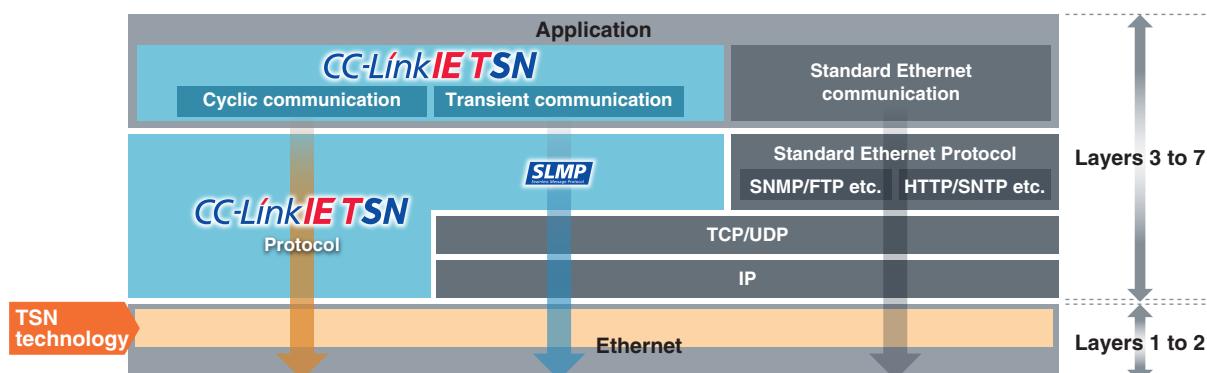
製造現場から上位のITシステムまでをシームレスにつなぐ、Ethernetベースのオープン統合ネットワークです。

TSN(Time-Sensitive Networking)技術を適用したCC-Link IE TSNを活用することにより、スマートファクトリーの実現に不可欠な制御通信と情報通信の融合を同一ネットワークで実現できます。

サイクリック通信でリアルタイム性を保証した制御を実施しながら、ITシステムとの情報通信が混在可能です。

### ■ TSN技術およびプロトコル階層

CC-Link IE TSNは、OSI参照モデルの第2層に位置するTSN技術をベースに、第3層～7層のCC-Link IE TSN独自プロトコルとEthernet標準プロトコルで構成されています。



#### ● TSN(Time-Sensitive Networking)技術とは

TSN技術は、複数の国際標準規格で構成されており、主なものに時刻同期方式を規定したIEEE802.1AS、時分割方式を規定したIEEE802.1Qbvがあります。これらの規格を組み合わせることで、一定時間内での伝送を保証する定時性や異なる通信プロトコルとの混在が実現可能となります。

## ■ CC-Link IE TSNの特長

### ネットワークの統合

標準Ethernet規格をベースに構成しているため、同一幹線上で複数プロトコルが混在可能。さらには同一ネットワークでI/O・モーション・安全制御を構築できます。

### 高度なモーション制御の実現

同一ネットワーク内で異なる通信速度の機器を組み合わせても高速通信を維持したまま通信周期が最適化できるため、モーション制御の性能を最大化し、装置性能の向上にも貢献します。

### 制御通信のリアルタイム性保証

時分割方式により、通信の遅延を一定時間内に制限できるため、リアルタイム通信(制御通信)の定時性を確保しながら非リアルタイム通信(情報通信)を実現します。

### 正確なタイムスタンプによる高度な分析

時刻同期方式により、CC-Link IE TSN対応製品間の時刻のズレを補正し高精度な時刻同期を実現。そのため異常発生時の早期復旧だけでなく、AIを活用したデータ解析においても精度向上が期待できます。

# CC-Link IE TSN対応製品開発の流れ

CC-Link協会は、CC-Link IE TSN対応製品の開発から販売まで  
さまざまな局面で皆様をサポートいたします。

## パートナーメーカーの開発から販売までの流れ



詳細:P.6

詳細:P.34

ネットワーク種別、局種別、開発手法などを選択してください。各開発ツールパートナーメーカーにより提供されている各種開発手法をご利用いただくことができます。

CC-Linkファミリー対応製品の開発・販売に際しては、まず、CLPAのレギュラーメンバ以上にご入会いただく必要があります。

開発される製品とネットワーク構成から、ハードウェア、ソフトウェアの詳細設計を行っていただきます。

## CC-Link 協会が強力にサポート！

### 開発サポート



初めてCC-Linkファミリー製品を開発する皆様に開発ツールパートナーのご紹介や開発手法に関する個別の技術サポートも行っています。CLPA主催の開発者向けセミナーも開講しています。

### 技術仕様書・ コンフォーマンステスト仕様書提供



CLPAより無償でご提供  
・CC-Linkファミリー対応製品開発のための仕様書  
・開発製品の適合試験のための「コンフォーマンステスト仕様書」

### 開発ツールパートナーメーカーでのサポート

#### ■ コンサルティング

製品開発のご相談や、開発ツールパートナーメーカー主催のセミナーも開講しています。各メーカーにお問い合わせください。

#### ■ 開発ツールの販売 / 技術サポート

開発中の技術的なご質問などにも対応いたします。各メーカーにお問い合わせください。



詳細:P.12 ~ 13

「コンフォーマンステスト仕様書」に基づき、機種ごとにメーカー試験と協会試験を受験していただきます。このコンフォーマンステストをスムーズに受験していただくために、CLPAが用意する国内外のコンフォーマンステストラボをご利用いただけます。

コンフォーマンステストに合格した製品には、認定書が交付されます。

コンフォーマンステスト認定品として、製品を販売していただけます。

CLPAウェブサイトにて製品のプロモーションを実施したい場合は、パートナー会員専用サイトより製品情報を登録してください。

### コンフォーマンステスト申請



会員専用サイトよりコンフォーマンステストの受験申請、進捗確認が可能です。

### コンフォーマンステストラボ

コンフォーマンステスト用の設備を利用して、CC-Linkファミリー製品の各種試験をしていただけます。さらにコンフォーマンステストの事前試験として、ノイズ試験、ハードウェア試験、ソフトウェア試験、組合せ試験など、開発中のCC-Linkファミリー製品が正常に通信可能かどうかなどを的確に確認できます。



### プロモーション



パートナーメーカーが、開発・販売するCC-Linkファミリー対応製品情報を登録することにより、CLPAウェブサイトにてその情報を公開することができます。

## 開発検討のステップ

Step  
**1**

### 局種別の選択

どの局種別に  
対応するか決めましょう。

#### マネージャ局

ネットワークの管理を行う局。

#### ローカル局

マネージャ局および他のローカル局との  $n:n$  のサイクリック伝送と他の局との  $1:n$  のサイクリック伝送が可能な局。

#### リモート局

他の局との  $1:n$  のサイクリック伝送が可能な局。

詳細 : P.8

Step  
**2**

### 認証クラスの選択

どの認証クラスに  
対応するか決めましょう。

#### Class A

- ・リアルタイム通信
- ・既存 (CC-Link IE TSN 非対応) 製品のソフトウェア変更で開発可能。

#### Class B

- ・同期リアルタイム通信
- ・同期精度  $1\mu s$  以下を担保可能。
- ・専用 LSI を用いるか、高速な通信周期をサポートした汎用 Ethernet LSI が必要です。

詳細 : P.9

## CC-Link IE TSN推奨ネットワーク配線部品

CC-Link IE TSNのケーブルおよびコネクタなどの配線部品につきましては、ANSI/TIA/EIA-568-B(Category 5またはCategory 5e)などの各規格に準拠した配線部品であればご使用いただくことができますが、産業用途で安心して使用するための試験を実施し、合格した製品を推奨品としてCC-Link協会から情報提供しております。

Step  
3

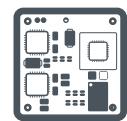
## 開発手法の選択

どの開発手法にするか  
決めましょう。

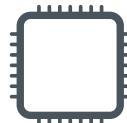
PC ボード



組込みモジュール



専用通信 LSI



ソフトウェア開発キット(SDK)など



詳細 : P.10

Step  
4

## 開発場所の選択

どこで開発するか  
決めましょう。

自社で開発



受託開発メーカーの利用

詳細 : P.11

## 相互認証制度

CC-Link IE フィールドネットワーク推奨配線部品の試験に合格している下記推奨部品につきましては、CC-Link IE TSNでも同様に推奨品とすることが可能です。その際、試験は不要です。

## ● CC-Link IE フィールドネットワーク推奨配線部品

- ケーブル
- RJ45プラグ・ジャック

- RJ45中継コネクタ

- M12プラグ・ジャック

# CC-Link IE TSN対応製品開発の流れ



## Step 1 標種別の選択

### マネージャ局

ネットワークの管理を行う局。制御情報(パラメータ)を持ち、デバイス局\*および他のマネージャ局をサイクリック伝送、トランジエント伝送により制御する局。

\*デバイス局：ローカル局やリモート局などのマネージャ局以外の総称です。

### 対応機器(例)



PLC



産業用PC

### ローカル局

マネージャ局および他のローカル局とのn:n のサイクリック伝送と他の局との1:n のサイクリック伝送が可能で、他の局とトランジエント伝送が可能である局。トランジエント伝送においては、サーバ機能とクライアント機能を持ちます。

### 対応機器(例)



PLC



産業用PC

### リモート局

他の局との1:n のサイクリック伝送とトランジエント伝送が可能な局。

トランジエント伝送においては、サーバ機能とクライアント機能を持ちます。

### 対応機器(例)



HMI



リモートI/O



サーボ



ビジョンセンサ



インバータ



電磁弁



ロボット



NC



## Step 2 認証クラスの選択

- CC-Link IE TSNでは、機器(ノード)およびスイッチの機能・性能に応じて、認証クラスを設けています。
- 認証クラスにはAとBがあり、Bが高性能となります。

### 機器

- 使用用途の広い認証クラスBの製品開発を推奨します。ただし既存(CC-Link IE TSN非対応)製品のソフトウェアのみを変更し、開発を行う場合のみ認証クラスAで開発ください。

#### 機器の認証クラス

No.	機能	条件	認証クラス	
			A	B
1	受信/中継	フルレート受信/中継 <sup>(※1,※2)</sup>	—	●
2	対応規格	IEEE802.1AS準拠	—	●
		IEEE1588準拠	—	—(※5)
		IEEE802.1Qbv準拠	—	●
3	同期精度	1μs以下	—	●(※4)
4	通信モード	時分割方式	—	●
		タイムマネージド・ポーリング方式	●	—
5	サイクリック伝送	VLAN	●	●(※6)
		ユニキャスト	●	●
		ブロードキャスト/マルチキャスト	—(※3)	●
6	トランジエント伝送	NRSV-Transient	●	●

※1 1ポートの場合:受信、2ポート以上の場合:受信と中継

※2 100Mbps以上であれば、通信速度は問わない

※3 ローカル局の場合は、実装必須

※4 時刻同期精度1μsを保証するシステムの場合、認証クラスBの製品のみで構成する。この場合、認証クラスAの製品(スイッチ含む)を認証クラスBの製品間に配置しないこと。

※5 プロトコルバージョン1.0は実装要。詳細はCC-Link IE TSN仕様書(概要編)をご参照ください。

※6 プロトコルバージョン1.0は実装不要。詳細はCC-Link IE TSN仕様書(概要編)をご参照ください。

マネージャ局は、認証クラスAのデバイス局および認証クラスBのデバイス局の両方と通信可能となるように実装してください。

デバイス局は、認証クラスAまたはBのいずれかの局として、マネージャ局と通信可能となるように実装してください。

No.	機能	プロトコルバージョン2.0	プロトコルバージョン1.0
1	通信方式 <sup>(※)</sup>	時分割方式 タイムマネージド・ポーリング方式	時分割方式
2	対応規格	IEEE802.1AS準拠 IEEE1588準拠	IEEE802.1AS準拠 IEEE1588準拠
3	サイクリック伝送	VLAN必須	VLAN任意

※時分割方式では各局で同期している時刻を活用して双方に向同時に送信するのに対し、タイムマネージド・ポーリング方式では、時間を管理するマネージャ局からのサイクリックフレームを受信した後にマネージャ局宛にサイクリックフレームを送信する方式です。

### スイッチ

#### スイッチの認証クラス

No.	機能	条件	認証クラス	
			A	B
1	リンクアップ/中継	1000BASE-T(IEEE802.3ab)準拠	●(※)	●(※)
		100BASE-TX(IEEE802.3u)準拠		
		Auto MDI/MDI-X	●	●
		オートネゴシエーション	●	●
2	対応規格	IEEE802.1AS準拠	—	●
		IEEE1588準拠	—	—
3	同期精度	1μs以下	—	●
4	Time aware Queuing	IEEE802.1Qbv準拠	—	●

※どちらか一方、もしくは両方に対応のこと

# CC-Link IE TSN対応製品開発の流れ



Step  
**3**

## 開発手法の選択

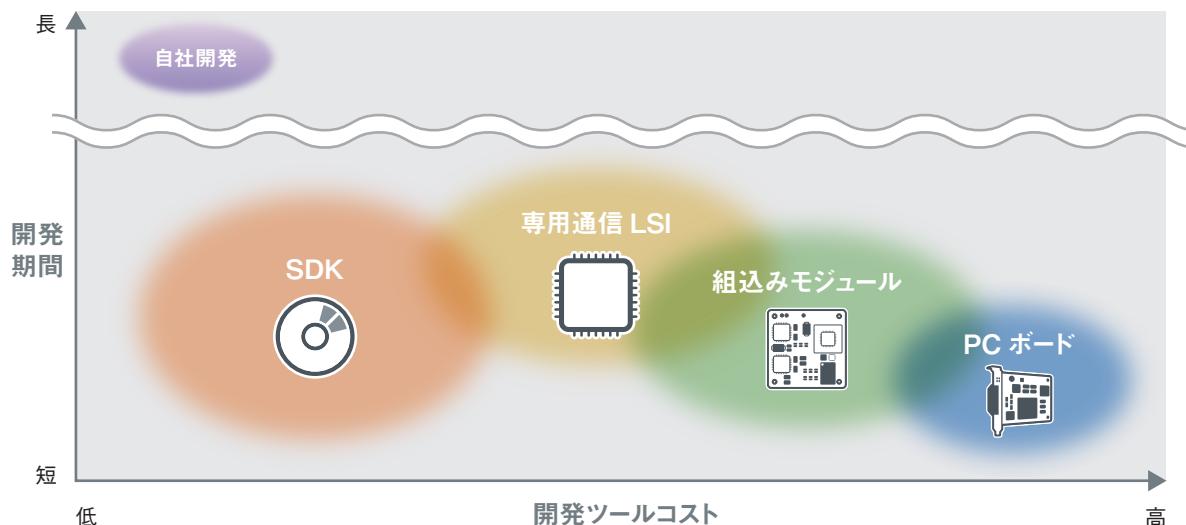
### ■ 開発手法の多様化

専用ASIC/FPGAで実装した高性能機器から、ソフトウェアプロトコルスタックで実装した汎用Ethernetチップまでさまざまなタイプの製品開発に対応できます。

### ■ 種類

開発ツール分類	PCボード	組込みモジュール	専用通信LSI	SDK
種別	ハードウェア	ハードウェア	ハードウェア	ソフトウェア
内容	PCIやPCI Expressのインターフェースに接続する	ユーザー基板と組込み型インターフェースボードを汎用的なバス(16bitパラレルバスなど)で接続する	公開される通信LSIのインターフェース仕様に基づき、ユーザー自身で基板に実装する	公開されるソフトウェアを汎用Ethernet通信に対応した機器に組み込む

選択する開発手法により期間とコストが異なります。



### ■ 開発種別の異なる製品の組合せによる通信精度の違い

構成	ハードウェアマネージャ局 ↓ ハードウェアデバイス局	ソフトウェアマネージャ局 ↓ ハードウェアデバイス局	ハードウェアマネージャ局 ↓ ソフトウェアデバイス局	ソフトウェアマネージャ局 ↓ ソフトウェアデバイス局
通信速度	1Gbps	1Gbps	100Mbps	100Mbps
通信精度	高	低	高	低

開発ツールパートナーはP.14をご参照ください。



## Step 4 開発場所の選択

### 自社で開発

各種開発手法を利用して、  
自社で通信インターフェースを開発いただきます。

もしくは…

### 受託開発メーカーの利用

自社開発における技術面や人員面などの問題をクリアする方法の一つとして、通信インターフェースのハードウェアやソフトウェアの開発を受託するメーカーがあります。受託開発メーカーは P.26 をご参照ください。

### ■ CC-Link IE TSN対応製品貸出サービス

CC-Link IE TSNの採用や対応製品の開発をご検討されている方を対象に、機材貸出サービスを無料で行っております。CC-Link IE TSN対応製品との接続確認など自社製品評価でご利用いただけます。ぜひこの機会にお試しください。

サービスの詳細はこちら



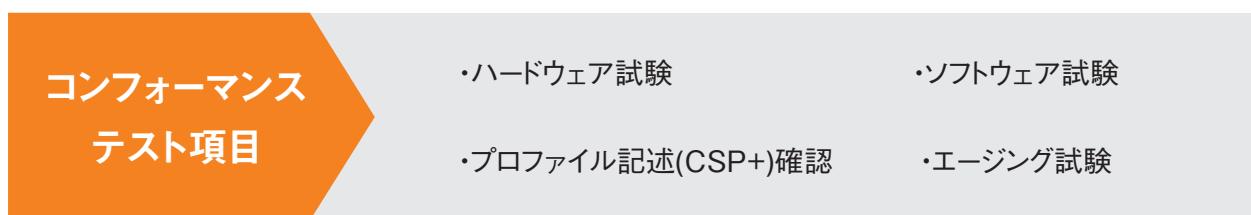
## コンフォーマンステスト受験

### ■ コンフォーマンステストとは

CC-Link IE TSN対応製品に対し、CC-Link協会が定める通信の動作に関する試験を行い、その製品がCC-Link IE TSNの通信仕様を満たし、CC-Link IE TSNに接続できることを確認するために実施するものです。

### コンフォーマンステストを実施すると…

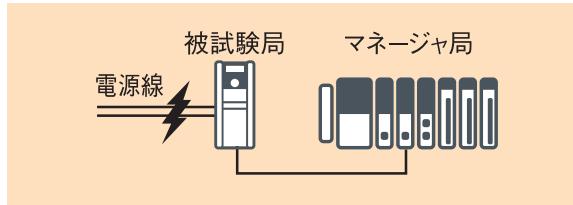
- CC-Link IE TSNの通信部分の信頼性が確保できます。
- 異なるメーカー間、機種間での相互接続時にスムーズなシステム構築を図ることができます。



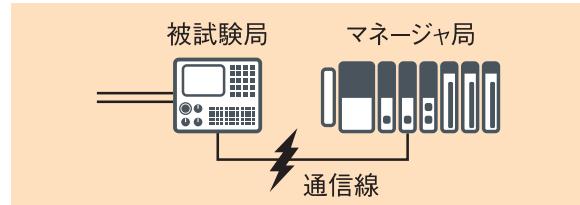
※試験内容の詳細はコンフォーマンステスト仕様書をご確認ください。

### テスト例

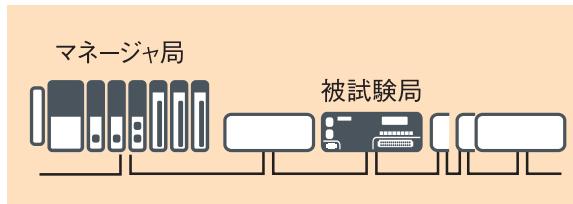
#### ● 電源ノイズテスト(AC/DC)



#### ● 束線ノイズテスト



#### ● エージングテスト



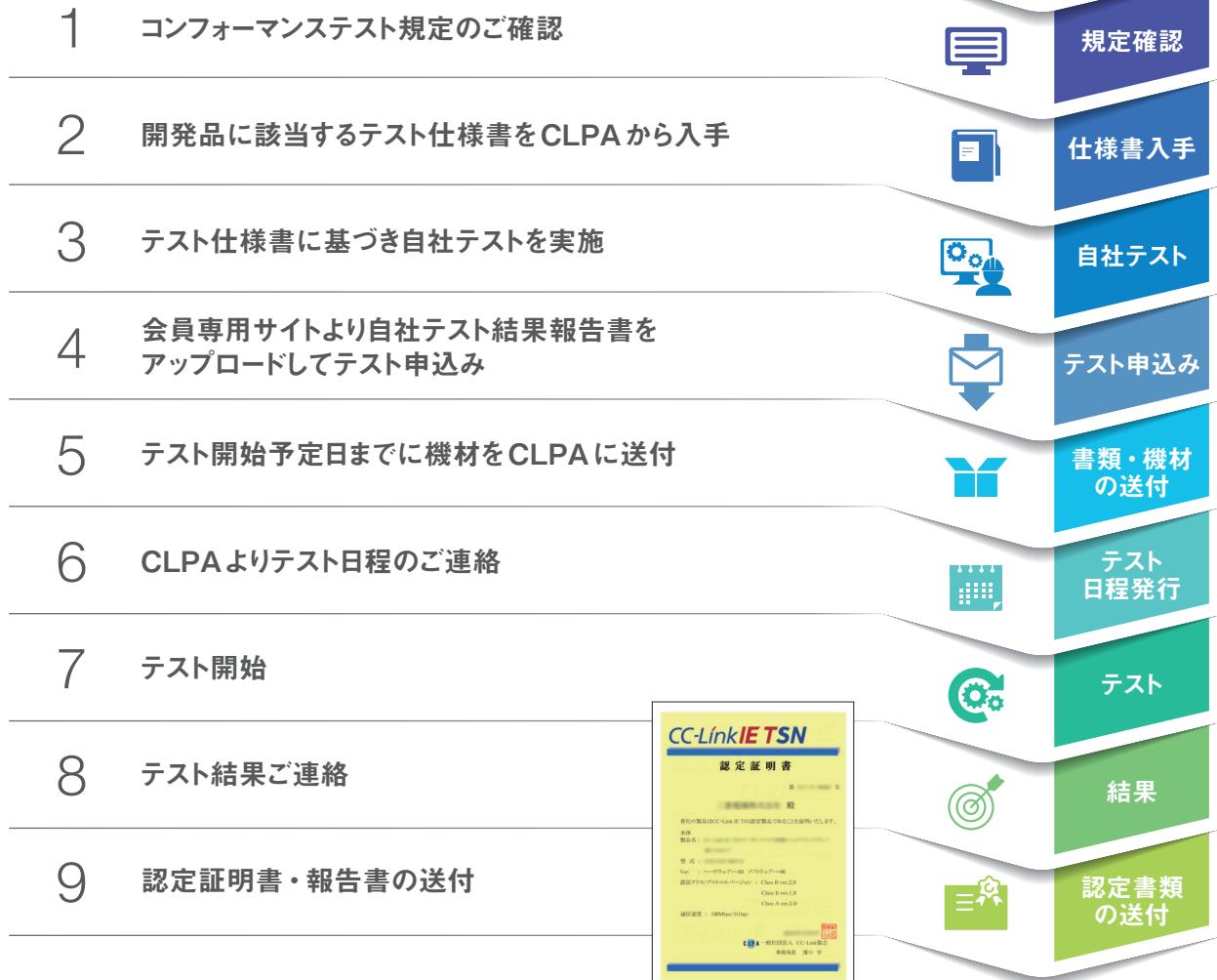
### テスト項目と実施区分

テスト項目には、事前にパートナーメーカーでテストを行っていただく項目と、CC-Link協会でテストを行う項目があります。項目によっては、パートナーメーカーとCC-Link協会の両方でテストを実施するものもあります。CC-Link協会でテストを開始するまでに、パートナーメーカーでの事前テスト項目すべてに合格する必要があります。



- コンフォーマンステストは、その製品がCC-Link IE TSNとしての通信仕様を満たしていることを確認するためのものであり、機器固有の機能については対象外です。
- コンフォーマンステストに合格することが、製品そのものの性能、品質などを保証するということではありません。
- スイッチ、ケーブル、コネクタなどについては推奨配線部品試験を受験いただけます。

## ■ コンフォーマンステスト受験の流れ



## ■ コンフォーマンステストラボ利用のご案内

CC-Link協会では、CC-Linkファミリー製品の各種試験が行えるように、コンフォーマンステストの設備をご利用いただける試験場をご案内しています。パートナーメーカーでの事前テストの際にご利用ください。



### CC-Link IE TSNのテスト(リモート局、推奨配線部品)が可能な試験場

お問い合わせ先

三菱電機エンジニアリング株式会社 名古屋事業所 CC-Linkテストセンター

〒486-0906 愛知県春日井市下屋敷町字下屋敷139 ..... TEL 0568-36-3863(直通)

事前コンフォーマンステスト受託 CC-Linkテストセンター

対応内容:CC-Linkファミリーコンフォーマンステスト全般 1000BASE-Tコンプライアンステスト

## CC-Link IE TSN開発ツールパートナー

パートナー	局種別	認証 クラス	開発ツール				掲載 ページ
			PCボード	組込みモジュール	通信LSI	SDK	
 <b>Advantech</b> Enabling the Future A member of Eurotech Group	マネージャ/ローカル局	B	近日認証予定				P.16
	マネージャ局	B				●	P.17
	リモート局	B		●			P.18
 MITSUBISHI ELECTRIC	マスター/ローカル局	B			●		P.19
	リモート局	B/A			●		P.19
 KSJ Enhance your embedded solution	マネージャ局	B		●			P.20
 port PROFESSIONAL INDUSTRIAL COMMUNICATION	マネージャ局	B				●	P.22
	リモート局	B/A				近日認証予定	P.23
	リモート局	A				近日認証予定	P.24

開発検討中のパートナーは下記です。



詳細はこちら



# 開発から製品PRまでを強力に支援

CC-Link IE TSN開発を支援するサンプルコード、ツールを公開しております。

パートナー会員であれば、CLPA Webサイトから無償でダウンロード可能です。

## ■ CC-Link IE TSN リモート局 Class A用サンプルコード

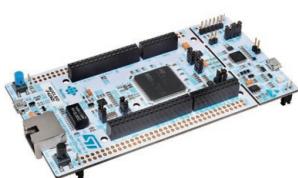
### 特長

- ① コンパクトなりモート局用サンプルコード
- ② Ethernet機器やCC-Link IEフィールドネットワークBasic機器への適用を容易にするS/W構造  
やAPI仕様
- ③ 無償でダウンロード可能



### 開発環境

No.	項目	製品名	バージョン	メーカー
1	評価ボード	NUCLEO-F439ZI <sup>*</sup>	----	STMicroelectronics
2	統合開発環境	STM32CubeIDE	1.7.0	STMicroelectronics
3	OS	FreeRTOS	V10.3.1	Amazon Web Services
4	IPスタック	lwIP (lightweight IP)	2.1.2	lwIP開発者グループ



NUCLEO-F439ZI  
(STMicroelectronics社製)

※ 搭載マイコン(STM32F439ZIT6)

周波数	180MHz
CPU	ARM Cortex-M4
Flash	2,048Kbyte
RAM	256Kbyte

詳細はCLPAホームページより  
ご覧になれます。



## ■ CC-Link IE TSN Wiresharkプラグイン

CC-Link IE TSN WiresharkプラグインをWiresharkに取り込むことで、CC-Link IE TSNプロトコルのパケットのデータ表示が簡単になるため、解析が格段に容易になります。

どなたでもダウンロード  
できます。



## 株式会社アドバネット



A member of Eurotech Group

CC-Link IE TSNのマネージャ/ローカル局として動作可能なインテリジェントPCボードです。ホストCPUに負荷をかけることなく、CC-Link IE TSNマネージャ/ローカル局との通信機能を既存のシステムに容易に追加可能です。また、ブラケットの交換によりLow profile、Standard height両タイプのPCI Expressカードスロットに対応します。

## 開発できる局・認証クラス

開発手法	局種別	認証クラス	製品名
PCI Expressカード	マネージャ/ローカル局	Class B	AdEXP1589 <small>近日認証予定</small>

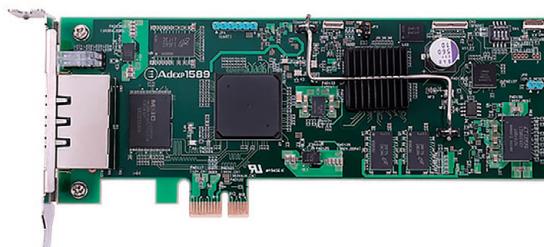
## 開発手法

CC-Link IE TSN通信に必要なハードウェア・開発環境のご提供。

サンプルプロジェクトやサンプルプログラムとスタートアップガイドで迅速な開発をサポートします。

## ■ PCI Expressカード AdEXP1589

- PCIe x1カード
- CP610搭載
- マネージャ/ローカル局対応



## ■ マニュアル

- ハードウェアマニュアル
- ドライバ作成用資料(サンプルコード含む)
- ドライバマニュアル

## ■ ソフトウェア

- Linux用デバイスドライバ
- Intime用デバイスドライバ
- サンプルプログラム

## ■ 評価キット(予定)

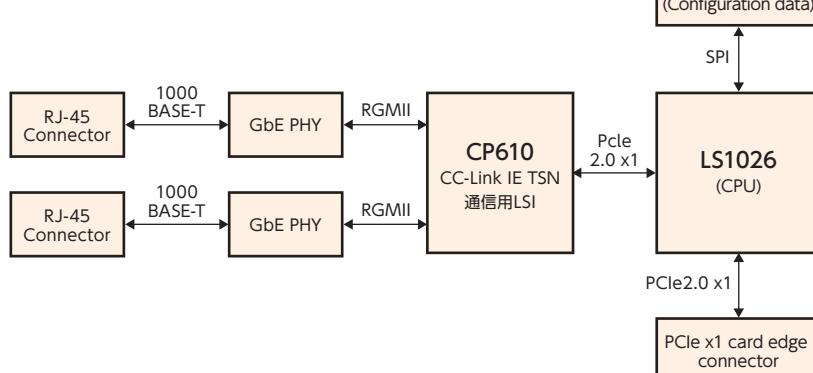
- AdEXP1589+社外DIOユニット

## 開発手法の特長・PRポイント

- 三菱電機製LSI CP610搭載
- PCI Expressアドインカード
  - ・PCカードを追加するだけでCC-Link IE TSN通信を実現
- 動作温度範囲:0~55°C

- 基板コーティング対応、他カスタム対応可能
- ドライバ作成資料内にはサンプルコードが同梱されており、スピーディな開発が可能
- ドライバの受託開発の対応も可能

AdEXP1589ブロック図



## 問合せ先

岡山県岡山市北区田中616-4  
 E-mail sales@advanet.jp  
 URL https://www.advanet.co.jp/contact-us

# イーソル株式会社



SDKの提供・サポート以外に、個別のプラットフォームへの移植など各種エンジニアリングサービスを提供します。

## 開発できる局・認証クラス

開発手法	局種別	認証クラス	製品名
ソフトウェア開発キット(SDK)	マネージャ局	Class B	eSOL CC-Link IE TSN SDK
	リモート局	—	eSOL CC-Link IE Safety SDK

## 開発手法

CC-Link IE TSNプロトコルスタックとサンプルアプリケーションを開発キットとして提供しますので、CC-Link IE TSN対応機器を容易に開発いただけます。

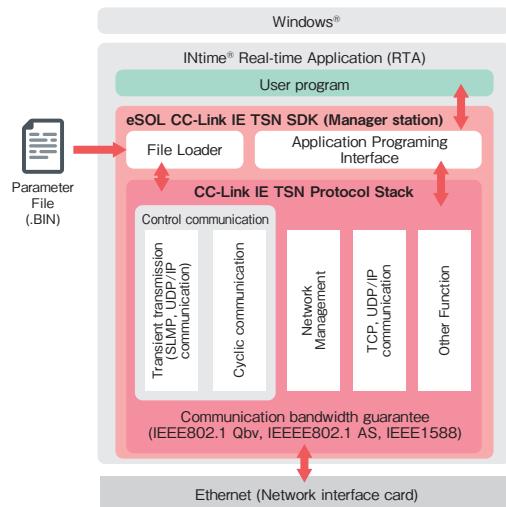
### ● eSOL CC-Link IE TSN SDK(Manager station)

### ● eSOL CC-Link IE Safety SDK

## 開発手法の特長・PRポイント

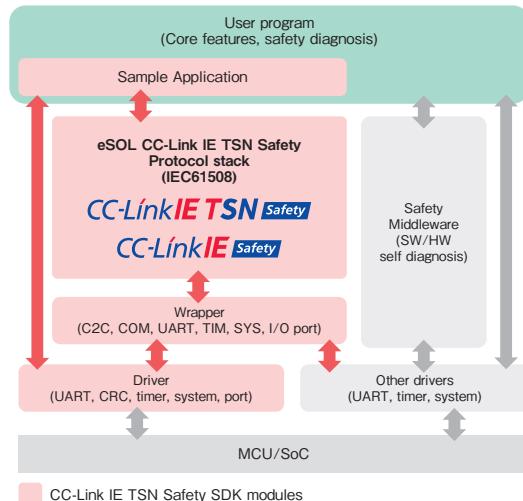
### ① eSOL CC-Link IE TSN SDK(Manager station)

- マネージャ局 認証クラスB対応
- Windows®と共存するリアルタイムOS(INTime®)上で動作



### ② eSOL CC-Link IE Safety SDK

- CC-Link IE SafetyプロトコルスタックはIEC61508認証取得済
- 安全通信機能コンフォーマンス試験による動作確認済



## ■ 受託内容詳細

CC-Link IE SDKの提供・技術サポート以外に、お客様の個別プラットフォームへの移植などさまざまな開発支援が可能です。

### 検討・導入

### 開発・評価

### 認証・出荷

- 実現仕様打合せ
- SDKライセンス

- SDK技術サポート
- 個別プラットフォームへのSDK移植
- 各種ドライバ開発
- アプリケーション開発
- 各種評価、ドキュメント作成
- 機能安全開発支援・コンサルティング

- コンフォーマンステスト事前確認
- コンフォーマンステスト不具合解析
- 各種ドキュメント作成
- 機能安全認証支援・コンサルティング

## 問合せ先

東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー  
 TEL 03-5302-1360 FAX 03-5302-1361  
 E-mail sw-inq-jp@esol.co.jp  
 URL https://www.esol.co.jp/

## HMSインダストリアルネットワーク株式会社



Anybus CompactCom 40 CC-Link IE TSNは、お客様の製品をCC-Link IE TSN対応させるための通信モジュールです。AnybusソリューションでCC-Link IE TSN対応製品を素早く投入することが出来ます。

### 開発できる局・認証クラス

開発手法	局種別	認証クラス	製品名
組込みモジュール	リモート局	Class B	Anybus CompactCom M40 CC-Link IE TSN
	リモート局	Class B	Anybus CompactCom B40 CC-Link IE TSN <span style="background-color: red; color: white;">近日認証予定</span>

### 開発手法

プロトコル処理はAnybus CompactCom40が実行するため高度なKnow-howを必要とせずに開発可能です。HMSによりメンテナンス、事前認証を実行済みのため製品に組み込まれた状態での認証試験のリスクを大幅に削減できます。

お客様の製品に合わせて2つの製品タイプから選択可能です。

#### ■ モジュールタイプ(M40)

- 産業用ネットワーク機能を完全実装
- プラグイン可能な通信インターフェース
- 開発工数の最小化、製品リリースの早期化効果が一番高い
- ハウジングあり/なしを選択可能

#### ■ ブリックタイプ(B40)

- 通信コントローラ、メモリ、周辺パーツ、インターフェース回路などを実装したカードタイプ
- 各種形状コネクター・メカ設計上の制約に対し柔軟に対応可能

**Anybus®**  
BY HMS NETWORKS

モジュールタイプ(M40)



ハウジングあり

ハウジングなし

ブリックタイプ(B40)



### 開発手法の特長・PRポイント

ネットワーク対応のための開発コストを削減し、短期間での製品市場投入を実現いたします。

主な仕様:リモート局、認証クラスB、100/1000Mbps × 2ポート、IT系プロトコル(Webサーバー、FTPサーバー、Emailクライアントなど)

仕様	Brick	Module
サイズ(L×W×H)	36×36×8mm	52×50×22mm 51×37×16mm(ハウジング無)
ホストインターフェース	- 8/16-bitパラレル(アクセス時間30ns) - 高速SPI(クロック最大20MHz) - シフトレジスタ(I/O機器用) - UART(30シリーズ互換用、ボーレート最大625kbps)	
コネクタ	1.27mmピッチ 56ピンコネクタ(ホスト) 52ピンコネクタ(ネットワーク)	50ピンコンパクトフラッシュコネクタ
電源	3.3VDC	3.3VDC
動作環境温度	-40~85°C	-40~70°C -40~85°C(ハウジング無)

#### 問合せ先

神奈川県横浜市港北区新横浜3-18-3 新横浜KSビル 6F  
 TEL 045-478-5340 FAX 045-476-0315  
 E-mail jo-sales@hms.se  
 URL https://www.hms-networks.com/ja

# 三菱電機株式会社



皆様の製品をCC-Link IE TSNに対応していただくこと…。それは、マルチベンダ製品ならではのシステムの自由度を確保できるだけでなく、その製品競争力を一挙にグローバルレベルへと飛躍するチャンスもあります。CC-Link IE TSN対応製品をスピーディに、確実に開発していただくために、三菱電機は開発ツールのご提供をはじめ、あらゆる局面で皆様をバックアップさせていただきます。

## 開発できる局・認証クラス

開発手法	局種別	認証クラス	製品名
通信LSI	マスタ/ローカル局	Class B	CC-Link IE TSNマスタ/ローカル局開発 専用通信LSI (CP610)
	リモート局	Class B/A	CC-Link IE TSN用GbE-PHY内蔵通信LSI (CP620)

## 開発手法

- マスタ/ローカル局用専用通信LSI CP610
- リモート局用 GbE-PHY内蔵通信LSI CP620



CP610

CP620

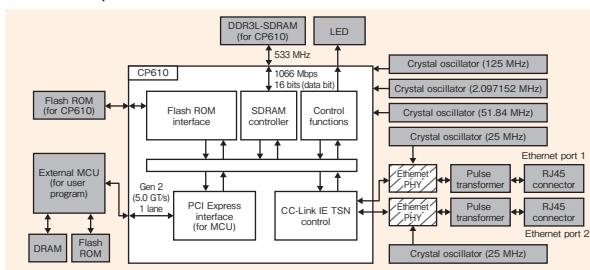
## 開発手法の特長・PRポイント

### ■ マスタ/ローカル局用専用通信LSI CP610

- ① プロトコルを意識することなく、CC-Link IE TSNのマスタ/ローカル局を開発できます。
- ② MPUやOSを自由に選定でき、そのハードウェア仕様やアプリケーションに応じて、カスタマイズできるサンプルコードを提供します。<sup>\*1</sup>

#### ● 概略ブロック図

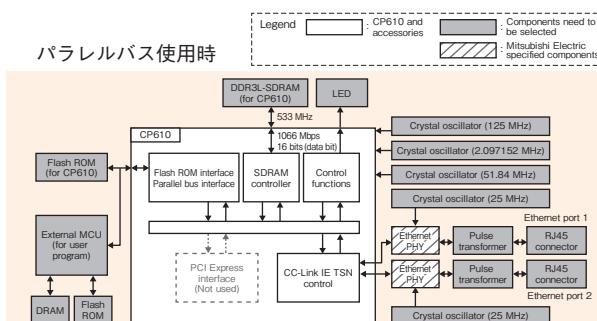
PCI Express®バス使用時



\*1 CP610と外部MPUとの接続インターフェースとしてPCI Express®バスを使用する場合と、パラレルバスを使用する場合のサンプルコードをご提供しています。

\*2 SPICEモデル、IBISモデルの提供には、秘密保持契約の締結が必要です。支社もしくはオーブンシステムセンタにご相談ください。

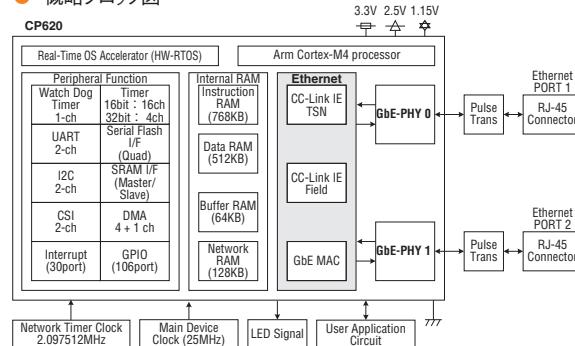
- ③ ソースコード開発キットに同梱されているCC-Link IE TSN設定ツールを使用して、CC-Link IE TSNマスタ/ローカル局のパラメータの設定や診断ができます。
- ④ 伝送路シミュレーションモデルとして、PCI Express®インターフェース用にSPICEモデル、その他のインターフェース用にIBISモデルを提供可能です。<sup>\*2</sup>



### ■ リモート局用GbE-PHY内蔵通信LSI CP620

- ① プロトコルを意識することなく、CC-Link IE TSNのリモート局およびCC-Link IEフィールドネットワークのインテリジェントデバイス局、リモートデバイス局を開発できます。
- ② GbE-PHYを一体化していますので、通信回路パターン設計が容易です。また、CPUやGbE-PHY周辺の部品、回路が少ないため、開発する基板をコンパクトにできます。
- ③ お客様のハードウェア仕様やアプリケーションに応じて、カスタマイズできるサンプルコードを提供します。
- ④ H/W-RTOSを搭載していますので、CPU負荷を低減でき、開発機器の消費電力を実現します。

#### ● 概略ブロック図



#### 問合せ先

本社機器営業部.....03-5812-1450 神奈川機器営業部..045-224-2624 中国支社.....082-248-5348  
北海道支社.....011-212-3794 北陸支社.....076-233-5502 四国支社.....087-825-0055  
東北支社.....022-216-4546 中部支社.....052-565-3314 九州支社.....092-721-2247  
関越機器営業部....048-600-5835 豊田支店.....0565-34-4112  
新潟支店.....025-241-7227 関西支社.....06-6486-4122

URL <https://www.mitsubishielectric.co.jp/fa/>

#### 技術相談窓口

三菱電機オープンシステムセンタ  
TEL 052-712-2369  
E-mail OSC@rj.MitsubishiElectric.co.jp

# 開発ツール

## 株式会社 ケイエスジェイ



CC-Link IE TSNマネージャ製品の開発から製造までの一貫した受託を承ります。  
コンフォーマンステストのサポートも可能です。

### 開発できる局・認証クラス

開発手法	局種別	認証クラス	製品名
組込みモジュール	マネージャ局	Class B	RB100/CMM(モジュール)

### 開発手法

- CC-Link IE TSN マネージャ局 基板 RB100
- CC-Link IE TSN マネージャ局 モジュール CMM

XILINX TSN IPcore活用。

CC-Link IE TSNプロトコルをリアルタイムOS上に実装。



RB100



CMM

### 開発手法の特長・PRポイント

- 自社開発のCC-Link IE TSNマネージャ局スタック(FPGA & リアルタイムOSベース)を提供可能。
- CC-Link IE TSNはFPGA(Zynq™UltraScale+™)のみでフレーム処理が実行され、CPU側アプリケーションとの干渉がありません。
- 開発ツールとして高性能マネージャ局基板RB100を提供しております。RB100はコンフォーマンステストの認証済み基板であり、試作開発のみならず、量産用途にもそのまま活用いただけます。
- CMM(コンフォーマンステスト認証済み基板)は、KSJのCC-Link IE TSNマネージャ局スタックをモジュール化した小型基板(55mm×70mm)です。貴社設計のインターフェース基板にコネクタ接続することでCC-Link IE TSNのマネージャ局として動作させることができます。
- 弊社評価ボードを使用することで、ハードウェア設計が完了する前にソフトウェアの基板上での評価を先行して行うことができます。これにより、開発期間を削減可能です。詳細は弊社へお問い合わせください。

### ■ お問い合わせから納品までの流れとKSJの受託引き受け範囲

ご要望例:CC-Link IE TSNマネージャ局を開発・生産を委託したい

#### 【各フェーズでのプロジェクト担当範囲】



※1 ハードウェア・ソフトウェア設計をKSJの同一エンジニアが担当するため手戻りを削減可能です

※2 生産台数が少ない場合は実機にRB100-CMMを搭載いただくことも可能です。

※3 部品調達から品証までKSJが一貫して対応いたします。調達・基板マウント・テスト・品証を一貫で行うことにより、部品のトレーサビリティを飛躍的に向上させております。  
(搭載部品トレースデータベース完備)

## ■ KSJ開発手法補足資料

KSJの提供するCC-Link IE TSN開発手法・環境

開発手法	KSJ CC-Link IE TSNマネージャ搭載基板。 KSJ CC-Link IE TSNマネージャが組み込まれたボードであり、性能確認用評価ボードと兼用する。	KSJ CC-Link IE TSNマネージャを搭載した専用ボード	
プロダクト	RB100	CMM (CC-Link IE TSN マネージャ Module)	性能確認用“EVAL-CB”
概要	組み込まれたKSJ CC-Link IE TSNマネージャ以外にTSNマネージャ/ROS2コントローラ/USB3.0カメラと画像処理/シリアル処理/DIOシステムなどの各種機能をドライバとして提供も可能しております。	KSJ CC-Link IE TSNマネージャが実現可能な専用ボードでお客様のボードとはDPRAMによってコミュニケーションが取れる構造となっております。	KSJ CC-Link IE TSNマネージャおよびCMMの性能評価のための評価用キャリアボードです。お客様のボードとは、DPRAMを介して通信します。初期段階でのみ必要で、以降は非売品と位置づけされたボードです。
プロダクト写真			
基本的な提供物 (一部有償ドライバも含みます)	○	—	○
ARM CPU プログラム: A9/R5F CPU library	○	—	—
FPGAデザイン: CC-Link IE TSN API+IPコア	○	—	—
CC-Link IE TSN Profile: CiA402 Motor Control	○	—	○
CC-Link IE TSN通信確認用PCソフト: CC-Link IE TSN Configuration tool	○	—	○ (透過用Configuration tool)
FPGA	FPGA: Xilinx Kria SoM K26 ARM CPUプログラム	—	FPGAXilinx XC7010 ARM CPUプログラム
ブートローダー	○	—	○
Linux OS: Ubuntu image	○	—	—
Linux用開発環境 オンボードUbuntu上で開発	○	—	—
Linux用サンプルソフト: Linux C/C++/ Python sample software(TCP/IP,USB,SD Card)	○	—	—
FreeRTOS用Xilinx開発環境 Vitis SDK for FreeRTOS C/C++	○	—	○
FreeRTOS用各種サンプルソフト	○	—	○
FreeRTOS Sample Software (CC-Link IE TSN/CiA402/ TCP/IP/SDCard/DIO)	○ +RS485	—	○ +DIO
OS間通信ライブラリ Linux↔FreeRTOS Communication library	○	—	—
CPU間通信ライブラリ A9/R5 CPU↔A9/R5 CPU Library	○	—	○
オプション機能追加	○	—	—
画像処理	USB3.0画像取り込みアプリケーション プラス OPCV ライブラリ	—	—
ROS	○ 画像取り込みと連動するライブラリ	—	—

### 問合せ先

東京都中野区本町2-54-13黒須ビル4階  
 TEL/FAX 03-5302-1368  
 E-mail sales@t-ksj.co.jp  
 URL https://www.t-ksj.co.jp/

## port industrial automation GmbH



portのCC-Link IE TSNスタック製品には様々なバージョンがあります。  
ソフトウェアスタックを用いるマネージャ局、またはリモート局、大量生産または少量生産機種など、  
CC-Link IE TSNテクノロジのすべてのユーザーに適切なソリューションを提供します。

### 開発できる局・認証クラス

開発手法	局種別	認証クラス	製品名
ソフトウェア開発キット(SDK)	マネージャ局	Class B (ハードウェアがCC-Link IE TSNをサポートする場合)	CC-Link IE TSN マネージャSDK

### 開発手法

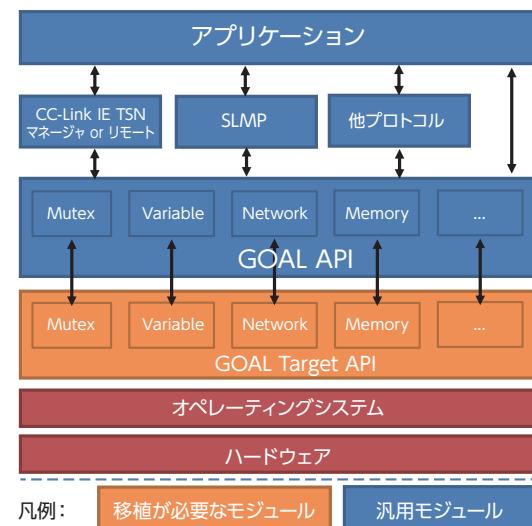
#### ■ portが専用ASIC / FPGA不要なCC-Link IE TSNマネージャソリューションを提供

- SDKはportのインダストリー4.0プラットフォーム – GOAL(Generic Open Abstraction Layer)を使用
- プラットフォームは容易にカスタマのハードウェアとOS用に移植可能
- マネージャ局サンプルプラットフォーム:NXP LS1028ARDB  
NXP i.MX RT1180(近日認証予定) Class B/A制御可能
- portの設計ツールによりアプリケーションデータオブジェクト(リンクデバイスまたはCANopenオブジェクト)、スタックのコンフィギュレーション、およびデバイス記述ファイルを容易に作成可能

### 開発手法の特長・PRポイント

- 管理マネージャ局と制御マネージャ局の実装が可能
  - 管理マネージャ局:他のデバイスを制御し、ネットワークを管理(1ネットワーク中に1局のみ)
  - 制御マネージャ局:他のデバイスやマネージャを制御(1ネットワークに1~ 複数の制御マネージャ局)
- IEEE 802.1ASとIEEE 1588v2による時刻同期をサポート(E2EとP2P遅延メカニズムの両方をサポート)
- ハードウェアによるTDMAスケジューリングをサポート(IEEE 802.1Qbv)
- デバイス局と他のマネージャ局との制御通信(サイクリック伝送)をサポート
- 他局とのトランジエント伝送をサポート
  - RSV-Transient:サイクリック伝送用のタイムスロット内でのトランジエント伝送
  - NRSV-Transient:標準イーサネットトラフィック用のタイムスロット内でのトランジエント伝送
- 非サイクリックデータ伝送用SLMP (Seamless Message Protocol)のサポート
- 複数のサイクル時間のサポート
 

マネージャは複数のデバイスと異なるサイクル時間で制御通信を実行可能(全てのサイクル時間は最小サイクル時間の倍数にする必要があります)
- サイクルスタート／ストップ:他局とのサイクリック伝送の停止と再開
- Class B認証可能



## 開発できる局・認証クラス

開発手法	局種別	認証クラス	製品名
ソフトウェア開発キット(SDK)	リモート局	Class B/A	CC-Link IE TSNリモートSDK <span style="background-color: red; color: white;">近日認証予定</span>

## 開発手法

### ■ portが専用ASIC / FPGA不要なCC-Link IE TSNリモートソリューションを提供

- SDKはportのインダストリー4.0プラットフォーム — GOAL(Generic Open Abstraction Layer)を使用
- リモート局サンプルプラットフォーム:NXP LS1028ARDB, i.MX RT1180
- portの設計ツールによりアプリケーションデータオブジェクト(リンクデバイスまたはCANopenオブジェクト)、スタックのコンフィギュレーション、およびデバイス記述ファイルを容易に作成可能

## 開発手法の特長・PRポイント

- リモートデバイス局の実装が可能
- IEEE 802.1ASおよびIEEE 1588v2による時刻同期をサポート(E2EとP2P遅延メカニズムの両方をサポート)
- ハードウェアによるTDMAスケジューリングをサポート(IEEE 802.1Qbv)
- マネージャ局との制御通信(サイクリック伝送)をサポート
- 他局とのトランジエント伝送をサポート
  - RSV-Transient: サイクリック伝送用のタイムスロット内でのトランジエント伝送
  - NRSV-Transient: 標準イーサネットトラフィック用のタイムスロット内でのトランジエント伝送
- 非サイクリックデータ伝送用SLMP(Seamless Message Protocol)をサポート

※ P.22の図をご参照ください。

### 問合せ先

株式会社M2Mクラフト  
北海道札幌市北区北23条西5丁目2-39  
TEL/FAX 011-788-9422  
URL <https://www.m2mcraft.co.jp>  
E-mail [sales@m2mcraft.co.jp](mailto:sales@m2mcraft.co.jp)



# 開発ツール

## ルネサスエレクトロニクス株式会社 Renesas Electronics Corporation



2ポートのギガビットイーサPHY、CPU、大容量メモリを搭載することでワンチップでCC-Link IE TSNが実現可能です。また、ソフトウェア開発に必要となるOSやソフトウェアも付属しているため、スムーズな製品開発が行えます。

### 開発できる局・認証クラス

開発手法	局種別	認証クラス	製品名
ソフトウェア開発キット(SDK)	リモート局	Class A	RX72M 産業ネットワークソリューション <span style="background-color: red; color: white;">近日認証予定</span>

### 開発手法

RX72Mは、CC-Link IE TSN Class A対応のリモート局用のマイクロコントローラです。RXの第3世代のCPUコア「RXv3コア」、大容量メモリを搭載、評価ボードにてお気軽に通信評価が行えます。

#### ■ MCU

- RXv3コア
- 大容量メモリ(コードフラッシュ最大4MB, SRAM 1MB)

#### ■ マニュアル

- ハードウェアマニュアル
- ユーザーズマニュアル

#### ■ ソフトウェア

- CC-Link IE TSN サンプルコード(評価用)
- TCP/IPスタック、周辺ドライバ(評価用)

#### ■ 評価ボード

- ルネサス製CPUカード  
RX72M CPU Card with RDC-IC
- テセラ・テクノロジー社製評価ボード  
TS-RX72M-COM

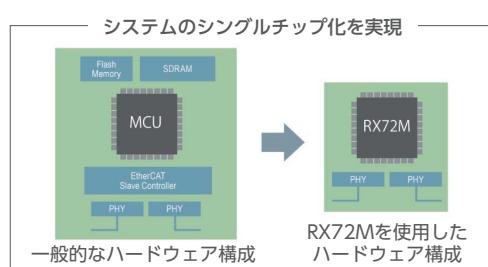


RX72M CPU Card with RDC-IC



TS-RX72M-COM

### 開発手法の特長・PRポイント



#### ■ RX72Mの特長

##### ①リアルタイム性能

業界最高速の120MHzでの読み出し動作が可能な  
フラッシュメモリを搭載

##### ②多機能化と小型化の両立

大容量内蔵メモリと有効GPIO本数を実現

##### ③強固なセキュリティ

鍵管理機能、アクセス管理機能、暗号エンジンを統合した  
“Trusted Secure IP”を搭載

##### ④ネットワーク通信とモータ制御の両立

PWMタイマ、三角関数演算器を搭載

##### ⑤充実のソフトウェア

評価環境は無償でダウンロード可能、MP用としてはパートナー  
社(Sherpa Inc.)より対応、開発における期間短縮に貢献

#### 問合せ先

東京都江東区豊洲三丁目2番24号（豊洲フォレシア）  
製品、サンプル、購入に関する問合せは、最寄りの営業担当者または代理店にお問い合わせください。  
URL <https://www.renesas.com/jp/ja/support/contact.html>

# Memo

CC-Link 協会へのご入会

受託開発

開発ツール

CC-Link IE TSN 対応製品開発の流れ

三菱電機エンジニアリング株式会社

#### CC-Linkファミリー接続対応製品の受託開発

事前コンフォーマンステスト・認証試験受託、コンテンツ制作



 三菱電機エンジニアリング株式会社

CC-Linkファミリーをはじめとした産業用ネットワークの  
製品開発をご要望に合わせてトータル／サポート！

## 開発できる局・認証クラス

局種別	認証クラス
マネージャ局	Class A

受託內容詳細

## ■ CC-Linkファミリー対応製品開発の流れと受託範囲



## ■ 特長

三菱電機株式会社の製品開発で培った技術とノウハウ、当社製品開発の経験を活かした4つの強みで、CC-Link協会公認 受託開発メーカーとしてCC-Linkファミリーの製品開発を長年にわたり携わっています。

特に受託開発においては、設計・構造・筐体、ハードウェア、ソフトウェアから認証試験(評価、コンフォーマンステスト)、規格認証(EMC、UL、CE)、OEM供給(試作、量産モノづくり)、コンテンツ(マニュアル、デジタルコンテンツ、翻訳、印刷)まで一貫したトータルサポート、用途に応じたスポットでのサポートが可能です。

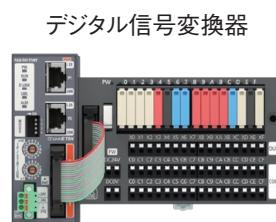
## ■ 受託範囲

- |          |  |
|----------|--|
| ①設計・請負   | 三菱電機株式会社 FA関連製品の製品開発で培ったハードウェア・筐体・ソフトウェアにわたる総合的な開発技術力の提供、マニュアル・翻訳などのコンテンツも対応 |
| ②評価・認証試験 | 製品評価から対策までスムーズな試験・コンフォーマンステストの合格、海外規格認証取得をサポート                               |
| ③モノづくり   | 量産品のモノづくりはもちろん、マニュアル・カタログなどのコンテンツ制作、印刷にも対応                                   |

※ 設計～製造(①・②・③)のトータルサポートはもちろん、各項目のみ、各項目内の中でも対応可能です。

## ■ 開發實績(一例)

ネットワークインターフェースユニット  
(CC-Link IE TSN、CC-Link IE Field、  
CC-Link IE Field Basic、SLMP、MODBUS/TCP)



間合せ先

〒486-0906 愛知県春日井市下屋敷町字下屋敷139  
**TEL** 0568-36-3722 **FAX** 0568-36-2376  
**E-mail** mei\_mee\_testlab@mp.mee.co.jp  
**URL** <https://www.mee.co.jp/sales/fa/mefan/>



# 三菱電機ソフトウェア株式会社

CC-Linkファミリー製品(S/W・H/W・FPGA)の受託開発



御社の製品をCC-Link IE TSN対応製品に! 当社が実現します。

## 開発できる局・認証クラス

局種別	認証クラス	
リモート局	Class A	Class B

- マネージャ局向け製品の設計 【お問い合わせください】

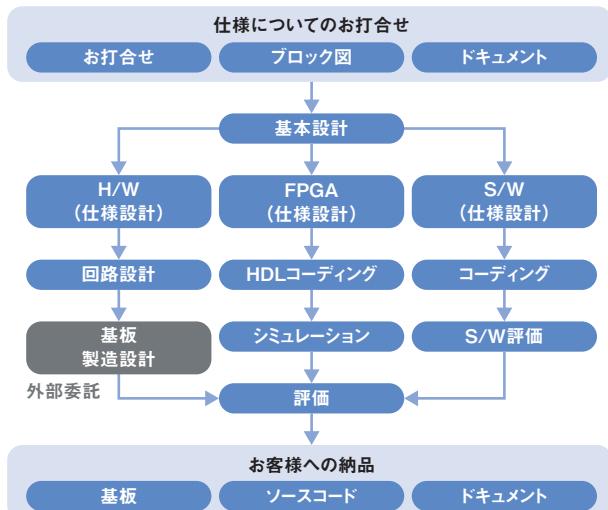
- 認証クラスA(SDK搭載) ..... リモート局向け製品の設計
- 認証クラスB(専用LSI搭載) ..... リモート局向け製品の設計

## 受託内容詳細

### ■ 受託開発内容



### ■ 受託形態



### ■ CC-Link IE TSN開発のポイント

開発経験からお客様に提供できる当社の技術力

- 時刻同期ライブラリポーティング
- TSN制御ライブラリポーティング
- 汎用TCP/IPスタックとSDKの接続
- お客様要望に合わせた仕様、FPGA回路のカスタマイズ
- 高速シリアル(GbitEther)回路設計
- CSP+プロファイル
- コンフォーマンステスト対策

問合せ先 三菱電機ソフトウェア株式会社 FA・ファシリティ事業統括部 名古屋事業所 CC-Link担当

〒462-0825 愛知県名古屋市北区大曽根3丁目15番58号 大曽根フロントビル5F

TEL 052-991-2441

E-mail netwk-info@mesw.co.jp

URL https://www.mesw.co.jp/

## 株式会社OTSL



STMicroelectronics社製H563ZI向けのCC-Link IE TSNのサンプルコードです。評価ボード上ですぐに動作させることができます。

## 開発できる局・認証クラス

## 局種別

リモート局

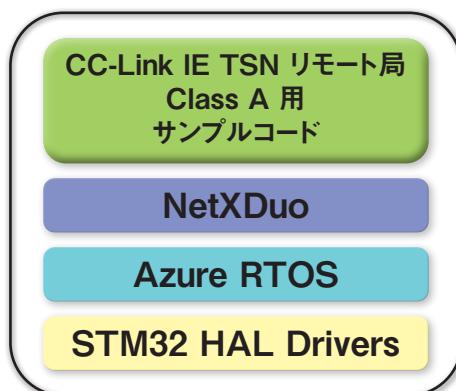
## 認証クラス

Class A

## 開発手法の特長・PRポイント

本製品はCLPAウェブサイトより配布されているサンプルコードをSTM32 H563ZIT6およびその開発環境向けに実装したものです。STMicroelectronics社から無償公開されているツールを使用していますので評価ボードがあればすぐに動作させることができます。

お客様の環境に合わせた移植やカスタマイズも可能ですのでお気軽にお問い合わせください。



システム構成図

STMicroelectronics社製評価ボード  
NUCLEO-H563ZI

No.	項目	製品名	バージョン	メーカー
1	評価ボード	NUCLEO-H563ZI	—	STMicroelectronics
2	統合開発環境	STM32CubeIDE	1.15.0	STMicroelectronics
3	OS	Azure RTOS	0.1.0	Microsoft
4	IPスタック	NetX Duo	0.2.0	Microsoft

## 問合せ先

愛知県名古屋市東区泉1-21-27 泉ファーストスクエア6F

TEL 052-961-1010

E-mail emb-sales@otsl.jp

URL https://www.otsl.jp

# 株式会社シェルパ

ソフトウェアで実現するCC-Link IE TSN Class AのSDK・受託開発



CLPAが公開している STMicroelectronics向けのARM用FreeRTOSで動作するサンプルコードを、お客様のご希望ターゲットASIC/RTOSに移植サポートいたします。

## 開発できる局・認証クラス

### 局種別

リモート局

### 認証クラス

Class A

## 受託内容詳細

### ■ 事業内容

当社は、産業用ネットワーク技術に特化した高度な技術支援サービスを提供しています。以下の分野において、豊富な経験と専門知識を活かし、お客様の課題解決をサポートいたします。

- リアルタイムOSの技術支援  
リアルタイムOSに関するコンサルティング、技術サポート、移植作業を通じて、システム開発の効率化と品質向上を支援します。
- フィールドバスシステムソフトウェア(産業用Ethernet)  
ソフトウェアの輸出入、開発、技術支援、移植作業に加え、トレーニングや認証取得支援など、包括的なサービスを提供します。
- 産業用イーサネットの導入支援  
コンサルティング、技術トレーニング、移植作業、アプリケーション開発の受託など、導入から運用までトータルでサポートします。
- ネットワーク診断・トラブルシューティング  
産業用ネットワークにおける通信障害や性能劣化の原因を迅速に特定し、的確な対策をご提案します。

### ■ CC-Link IE TSN Class A SDKの特徴

- 汎用イーサネットハードウェアを使用可能、10/100BASE-TX使用可能
- 組込み・産業用パソコンの幅広いOSをサポート

対応評価ボード



RENESAS  
RZ/T2L-RSK



アルファープロジェクト  
AP-RZT-0A

### 問合せ先

神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-4 京浜建物第2ビル 801号室  
TEL 045-475-2701 FAX 045-475-2702  
E-mail info@sherpa-tech.jp  
URL https://sherpa-tech.jp

## シマフジ電機株式会社

CC-Linkパートナーメーカー向け製品の受託開発

CC-Link/CC-Link IE関連製品のHW/SW受託開発からコンフォーマンス、試作量産までサポートいたします。

### 開発できる局・認証クラス

#### 局種別

リモート局

#### 認証クラス

Class A

Class B

### 受託内容詳細

#### ■受託開発の特長・PRポイント

ルネサス エレクトロニクス製のCC-Link IE TSN(Class B)対応の産業イーサネット通信用LSI「R-IN32M4-CL3」搭載評価ボードの開発・評価実績をベースにハードウェア/ソフトウェアの受託開発を行います。

CC-Linkファミリー製品のハードウェア/ソフトウェア受託開発を承ります。

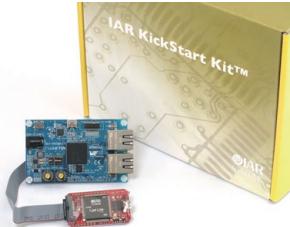
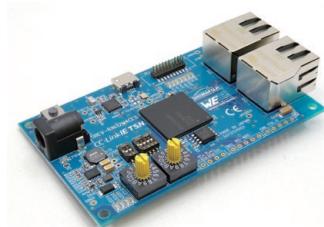
- |               |                |                              |
|---------------|----------------|------------------------------|
| ● ハードウェア設計    | ● ソフトウェア設計     | パートナー連携                      |
| ● 基板設計        | ● CSP+ファイル作成   | ● 三菱電機エンジニアリング株式会社(コンフォーマンス) |
| ● 基板製造(試作～量産) | ● コンフォーマンス試験支援 | ● IARシステムズ株式会社(開発環境)         |

#### ■評価ボード CC-Link IE TSN CC-Link IE Field

CC-Link IE TSN リモート局対応の評価ボードを使用しソフトウェア開発やシステム開発を行うための評価プラットフォームです。

CC-Link IE TSN(Class B)対応  
評価ボード「SBEV-RIN32M4CL3」

IARシステムズ社製  
スタートキット

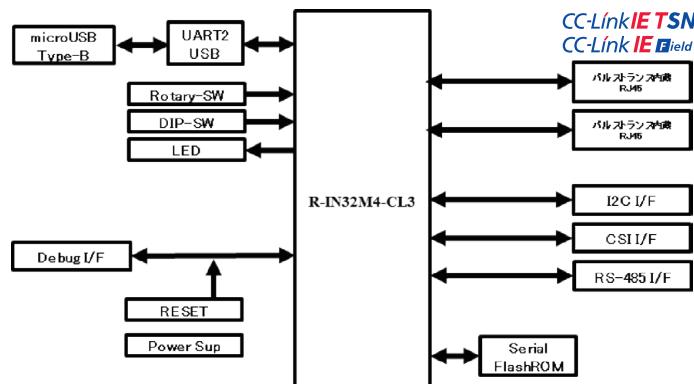


本製品はCC-Link IE TSN/CC-Link IE Field対応のルネサスエレクトロニクス製マイコン(R-IN32M4-CL3)を搭載したソフトウェア開発プラットフォームです。産業ネットワーク(CC-Link IE TSN/CC-Link IE Field)の他にRS-485, CSI, I2Cを搭載しお客様のソフトウェア開発およびシステム開発をすぐに行うことができます。R-IN32M4-CL3の開発と評価を容易にするために、IAR社キックスタートキットが用意されています。

#### ● SBEV-RIN32M4CL3 仕様一覧

CPU	R-IN32M4-CL3	R9A06G064SGBG
	Cortex-M4	150MHz
メモリ	内蔵RAM	1.3MB
	GbE PHY	2port内蔵
外部接続	SPI Flash Memory	8MB
	RJ45(GbE対応)	x2
	RS-485 ピンヘッダ	x1
	I2C ピンヘッダ	x1
	CSI ピンヘッダ	x1
電源	DC5.0V(DCジャック/microUSB Type-B コネクタ)	
基板寸法	85mm × 52mm	

#### ● SBEV-RIN32M4CL3 ブロック図



#### 問合せ先

〒144-0051 東京都大田区西蒲田6-36-11 西蒲田NSビル3階  
 TEL 03-3733-8308 FAX 03-3733-8318  
 E-mail info@shimafuji.co.jp  
 URL http://www.shimafuji.co.jp

# 株式会社タマディック

TAMADIC

長年、CC-Link 接続製品の開発に携わった実績に裏付けされたノウハウと技術力で、CC-Link IE TSN関連製品の各種ハードウェア(ファームウェアを含む)の受託開発・開発支援を行います。

## 開発できる局・認証クラス

局種別	認証クラス
リモート局	Class A
	Class B

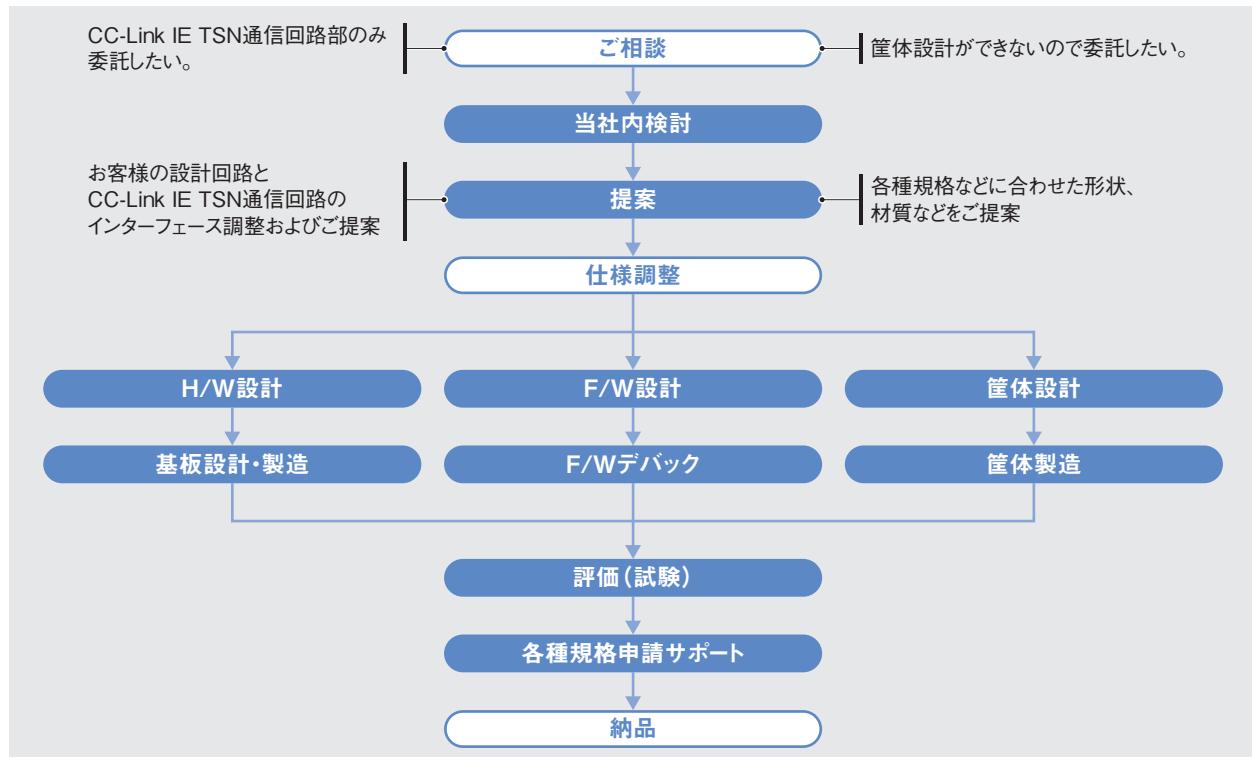
## 受託内容詳細

### ■ CC-Link IE TSN

- H/W設計、F/W設計
- 基板設計、基板製造
- 筐体設計、筐体製造
- 評価
- 各種規格申請サポート

工場・設備でご使用になるカスタム品の開発から、開発品の設計・評価、規格申請のサポートまでご要望に応じて開発、設計、評価業務を受託します。

### ■ お問合せから納品までの流れ



どのようなご要望でも、一度お問い合わせください。当社で支援可能な内容をご提案いたします。

# CC-Link IE TSNの主な仕様

## CC-Link IE TSNの主な仕様

項目	仕様
通信速度	1 Gbps 100Mbps(全二重推奨)
通信方式	時分割方式、タイムマネージドポーリング方式
同期機能	IEEE802.1AS
1ネットワークの接続ノード数	64770台(マネージャ局とデバイス局の合計) IPアドレスのアドレスクラスAの場合:65535台まで可能
最大ノード間距離	・光ファイバケーブル(IEEE 802.3準拠マルチモードファイバ)の場合:550 m ・光ファイバケーブル(SI-POF)の場合:20 m ・光ファイバケーブル(SI-HPCF)の場合:100 m ・ツイストペアケーブル(IEEE 802.3準拠)の場合:100 m
最大分岐数	上限なし
1局あたりの最大サイクリックサイズ	各局、入出力合計で最大4G(4,294,967,296)オクテット
トランジエント伝送	各局サーバ機能、クライアント機能あり 伝送容量はSLMPと同一。
トポロジー	ライン、スター、ライン・スター混在、リング

仕様の詳細につきましては、仕様書にてご確認ください。

# CSP+ (シエスピープラス)

## ■ CSP+の概要

### CSP+とは

CSP+とはControl&Communication System Profile Plusの略で、CC-Linkファミリー対応機器の立ち上げ、運用・保守のために必要な情報(ネットワークパラメータの情報やメモリマップなど)が記述されているプロファイルです。

CSP+はプロファイル仕様を統合したため、CC-Linkファミリー全てのプロトコルが同一書式で記述可能です。

また、CSP+の使用により、CC-Linkファミリー採用ユーザーが、同一エンジニアリングツールで各機種のパラメータを簡単に設定することができます。

### CSP+開発のメリット

#### ①エンジニアリングツール環境を統合

CC-Linkファミリー対応製品の開発ベンダーは、開発する製品に対応するCSP+ファイルを作成すれば、個別のエンジニアリングツールを作成する必要がありません。更に、診断やエネルギー管理など用途に応じたプロファイル記述により、エンジニアリングツールでそれぞれの用途に特化したレイアウトの専用画面を表示することができるようになります。

#### ②サポート業務の軽減

ネットワークパラメータの情報やメモリマップがCSP+ファイルに記載されているため、CC-Linkファミリー採用ユーザーはマニュアルレスでネットワークパラメータの設定やコメント作成ができます。また、機器のパラメータ設定やモニタなどがプログラムレスで可能なため、開発ベンダーのユーザーサポート業務が軽減されます。

#### ③XML形式を採用

CSP+対応ファイルはXML形式のため、汎用のXML処理用ライブラリが活用できます。そのため開発ベンダーは、プロファイル開発工数を削減することができます。

### CSP+のコンフォーマンステストについて

CSP+試験項目追加に伴い、コンフォーマンステストは今後以下の運用となります。

#### ①新規にCC-Linkファミリー対応製品を開発されるパートナー

2013年4月より、新コンフォーマンステスト仕様書に基づき、従来から実施の機器の試験に加え、CSP+の試験受験が必要となります。

#### ②既に認定されている製品をお持ちのパートナー

既に認定されている製品につきましては、CSP+の開発は任意となります。

尚、CSP+のみのコンフォーマンステストは無料で実施いたします。

### CSP+の運用の流れ

- (1) CSP+作成支援ツール(CC-Link協会ウェブサイトからダウンロード可能)を使用して、開発ベンダーが、CC-Linkファミリー対応機器のプロファイルを作成。
- (2)(1)のファイルを作成完了後、CC-Link協会にてコンフォーマンステストを実施し、認定されたファイルをCC-Link協会ウェブサイトに掲載。
- (3) CC-Linkファミリー対応製品開発ベンダーが作成したCC-Linkプロトコルファミリー接続機器のプロファイルを記述したCSP+ファイルを、CC-Linkファミリー採用ユーザーはCC-Link協会または、開発ベンダーのホームページよりダウンロード。
- (4) CC-Linkファミリー採用ユーザーは、CSP+を使用できるエンジニアリングツールを使用し、(3)でダウンロードした利用する機器のCSP+ファイルをインポートし、機器のエンジニアリングを実施。

運用方法	CSP+作成支援ツールを使用して、プロファイルを作成 	 ①作成 → ②コンフォーマンス	 製品同梱 インターネット公開 (CC-Link協会/パートナー/ CC-Link協会)	③公開 → ④利用	エンジニアリングツール (モニタ、診断、パラメータ設定、など) 
対象者	• CC-Linkファミリー製品開発ベンダー	• CC-Link協会	• CC-Linkファミリー製品開発ベンダー • CC-Link協会	• CC-Link採用ユーザー	

詳細はこちら



# CC-Link 協会へのご入会

入会のお申込みはこちら



CC-Link 協会ホームページより入会申込みいただけます

CC-Link IE TSN 対応製品を開発いただくには、CC-Link 協会にご入会いただく必要があります。

CC-Link 協会へご入会いただきますと、CC-Link ファミリーに関する最新技術資料や仕様書を無償で入手でき、さらにコンフォーマンステストの実施など、対応製品開発のための技術サポートを受けることができます。

パートナーベンダーによる対応製品の開発支援から、パートナー製品のグローバルな PR まで、CC-Link 協会は幅広いサポートサービスを提供します。

## ■ CC-Link 協会 会員区分

レギュラー会員 エグゼクティブ会員 ボード会員	<ul style="list-style-type: none"> <li>CC-Link ファミリー対応製品の開発</li> <li>CC-Link ファミリー対応製品の販売</li> <li>CC-Link ファミリーロゴの使用</li> <li>CC-Link 協会からの技術サポート</li> <li>CC-Link 協会からの製品 PR (Web、展示会など)</li> </ul>
レジスタード会員	<ul style="list-style-type: none"> <li>CC-Link ファミリー仕様書の入手のみ可能</li> </ul>

## ■ 会員区分別の権利および費用

(税抜価格)

会員区分		レジスタード会員	レギュラー会員	エグゼクティブ会員	ボード会員	
年会費 ※1 ( ) 内は途中入会月額	不要 (無料)	10万円 (0.9万円)	20万円 (1.8万円)	100万円以上 (8.4万円)		
入会金 ※1	不要 (無料)			100万円		
コンフォーマンス テスト料金 (1 製品)	CC-Link IE TSN	・マネージャ / ローカル局 ・リモート局 ・開発ツール ・ドライブプロファイル対応	10万円	5万円		
		・通常局 ・管理局 ・開発ツール	10万円	5万円		
		・マネージャ / ローカル局 ・インテリジェントデバイス局 ・リモートデバイス局 ・開発ツール	40万円	30万円		
	CC-Link IE フィールドネットワーク Basic	・マネージャ / リモート局 ・開発ツール	40万円	30万円		
		・IESMAP ・IESSL ・開発ツール	10万円	5万円		
	CC-Link IE 安全通信機能	・リモートデバイス局 ・リモートI/O局 ・ケーブル ・開発ツール	30万円	20万円	不要 (無料)	
		・マネージャ / ローカル局 ・インテリジェントデバイス局 ・開発ツール	30万円	20万円		
		・マネージャ局 ・リモートI/O局 ・ケーブル ・開発ツール	40万円	30万円		
	CC-Link/LT	・マネージアント ・リモートI/O局 ・ケーブル ・開発ツール	30万円	20万円		
		・クライアント ・サーバ	10万円	5万円		
推奨配線部品試験 料金 (1 製品)	CC-Link IE TSN	・ケーブル ・コネクタ ・スイッチなど	10万円	5万円		
		・ケーブル ・メディアコンバータなど	15万円	10万円	不要 (無料)	
		・ケーブル ・コネクタ ・スイッチなど	15万円	10万円		
	CC-Link IE コントローラネットワーク	・ソフトウェアなど	該当せず	10万円	5万円	
		「CC-Link ファミリー」仕様書の無償入手権利		不要 (無料)		
「CC-Link ファミリー」接続製品、開発ツール、推奨配線部品およびツールの開発、製造および販売の権利						
「CC-Link ファミリー」技術の使用権利						
「CC-Link ファミリー」ロゴの使用権利						
CLPA ウェブサイトなどへ自社製品情報を掲載する権利						

※1 年会費、入会金は不課税。

※2 営利目的の使用ではない場合、技術の使用を認める場合がある。

※3 他パートナーの権利に抵触しない範囲でプロモーション用途限定でのロゴ使用を認める場合がある。

# Memo

## CC-Link IE TSN の主な仕様

受託開発

開発ツール

CC-Link IE TSN 対応製品開発の流れ

## 入会のご案内

皆さまのFA機器、BA機器、PA機器もCC-Linkファミリーの対応製品として、一層の飛躍をとげませんか。オープンなFA機器として、世界のスタンダードをめざしませんか。新たなビジネスの開拓に向けて、対応製品の開発支援などのサポートをご利用いただけます。ご入会については、詳細をご確認のうえCC-Link協会ウェブサイトよりお申し込みください。

FA:Factory Automation / BA:Building Automation / PA:Process Automation



**CLPA Global Website**

<https://www.cc-link.org>

## お問い合わせ

一般社団法人CC-Link協会  
〒462-0825 名古屋市北区大曽根3丁目15-58  
大曽根フロントビル6階  
TEL:052-919-1588  
E-mail:info@cc-link.org

